

a 学校教育目標		自ら学ぶ、心豊かな生徒の育成			b 経営理念 ミッション・ビジョン		【ミッション】(自校の使命) ① 社会のために役立つと志を持つ生徒の育成 ② 地域・保護者の期待に応える学校 【ビジョン】(自校の将来像) ③ 伝統や文化の継承を軸に成長する学校							
評価計画					自己評価					改善方針	学校関係者評価			
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	9月	月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	n 改善方針	l 評価			m コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力	基礎学力の定着	・家庭学習の習慣化や支援が必要な生徒への補充学習を行うことで、基礎学力の定着を図る。	・定期テストの知識・技能の観点において、50%以上正答する生徒の割合 (R6: 70. 2%)	75%	59.8%		79.7%	C	・三原市で行っているアセスメント「i-check」においても、家庭学習の値が低く、家庭学習や生活習慣に課題があることは明らかである。 ・今年度は時間割の関係で、モジュール学習を国・数・英の3教科のみとした。この3教科の達成値は69%であり、全体より約10%高い。	・生徒全体の指導として、宿題未提出の生徒、また宿題を解くことが難しい生徒に対する放課後の補充学習を引き続き行い、家庭学習や生活習慣改善を目指す。 ・「i-check」において明らかになった「ゲーム時間の長さ」について課題のある生徒には、三者懇談等で保護者に説明し、家庭に協力を求めた。引き続き協力を求めていく。 ・学年ごとに、学習に関する取組みを行う。(例えば2年生は学活で今日の学習の中から直日がクイズを出題するなど)	○			・基礎学力や思考力をみる指標を定期テストとした場合の難しさを達成値の結果から感じた。次の評議員会では、定期テストの結果だけでなく、12月の学力定着調査の結果からの考察も教えてもらいたいです。先生方の学力向上のために個々の生徒や学級集団に対する継続した取組の工夫もよくわかりました。 ・学力に關してできる生徒とそうでない生徒の差が聞いている。いかにフォローしていくのが課題。
	幸崎思考力を育み、自律的に学ぶ生徒を育成する	・シンキングツールの活用や協働的な学習、個別最適な学びに向けた授業改善を図る。	・定期テストの思考・判断・表現の観点において、50%以上正答する生徒の割合 (R6: 67. 1%)	70%	63.9%		91.3%	B	・学年ごとに、学習に関する取組の成果がまだ十分に表れていないと考えられる。 ・教職員アンケートでは、肯定的評価が66. 6%であり、取組みが不十分である。 ・生徒アンケートの「R80を行うことで深く考えるようになったと思う」という項目の肯定的評価が76%で「R80を行うことで論理的思考力が高まったと思う」という項目の肯定的評価が78%であり、生徒はR80の良さを実感しつつあると考えられる。	・引き続き、研究授業において協働的な学習や個別最適な学びの効果的なあり方について実践、協議していく。 ・研究授業においてR80の具体的なゴールを指導案に明記し、協議で改善案を考えていく。	○			・学力低下の課題解決には家庭での学習習慣が必要だと感じた。繰り返し学習が定着するといよい。 ・保護者に対し家庭学習の大切さ、生活習慣の改善についてもっと理解していただき、見直しを検討してもらえたら良いと思います。学活でのクイズ出題は良いと思います。
	幸崎思考力の向上	・ICTの効果的な活用と、R80を活用した振り返りを行う。	・「授業の終わりに、目標に対応したまとめや振り返りをR80で行って、肯定的評価の割合 (R6: 91. 6%)	95%	86%		90.5%	B			○			・基礎学力の定着に関わっては、授業改善の視点も必要ではないかと。
豊かな心・健やかな体	自己肯定感の向上	・自己の役割を認識し、繰り返し成功体験を積める授業や行事等を行う。	・i-checkの散布図 I において、AB領域に分布する生徒の割合 (R6: 未実施)	70%	94.1%		134.4%	A	学校行事や活動の中で、心に残る体験をしたと答える生徒が多いということからも、自己の役割を認識し、自らの力を発揮することで、自己肯定感を向上させている。一方で、友達の見方を聞いて新しいことに気づいたり、自分の考えが認められたかについては、6割程度にとどまっているので、他者との交流により自己を深めていく機会をもたせたい。	・実際の生活の様子よりも自己肯定感に良い数字が出ている。周囲から自分がどう見られているか自己認識したり、できていないことを克服して少しでもできるようになろうとしたりする向上心をもたせたい。そのためには、自分自身を客観視できるようになることが必要である。 ・文化祭に向けては、各学年、縦割り、パート別などの各リーダーを中心に、生徒主導で集団が動いていく取組を進めていく。それによって自らが集団を動かす、自分が集団の力になっていくことを実感する中で、認め合い高め合える集団になる。	○			・今日の全校獅子太鼓の練習においても、先生方に見守られながら、3年生がリーダーとなって、生徒自ら考え、よりよい活動をしていると受ける姿が見られました。これが達成感や仲間意識を高めることにつながると感じました。 ・生徒が主体となって運動会などの行事に取り組み姿を拝見し感銘を受けました。先生方のご指導の賜物だと思います。
	自治的な活動を通して、互いに成長しようとする集団の育成	・お互いを認め合い、高め合う集団づくりを行い、リーダーの育成と自治的集団の質の向上を目指す。	・運動会、文化祭などの各行事後のR80とアンケートの肯定的評価の割合 (R6: 95. 2%)	95%	79.7%		83.9%	B			○			・思考のバランスが大事とのコメントもありましたが、人間形成の途中であるのだからも見守っていききたい。 ・裏付けのない高い自己評価は、自分と向き合っていないように感じる役割が持てることはいいことだと思うが、
	健康の増進と体力の向上	・基礎トレーニングを充実し、体力・運動能力の向上を図る。	持久力・柔軟性について、前回の記録を上回る生徒の割合 (R6: 69. 6%)	70%	65.2%		93.1%	B	・柔軟性において、73%の生徒が前回の記録を上回っている。 ・持久力について、57%の生徒が前回の記録を上回っている。 天候の関係もあって、体育館での活動が多く、柔軟運動は入念に行えたものの、長い距離を走って持久力を鍛える場面が少なかった。	・柔軟性では、怪我の防止やパフォーマンスの向上につながるなど必要性を伝え、準備運動の段階から一つ一つの動きの効果や適切な行い方を明確に伝えていく。 ・持久力では、呼吸器や循環器などの心肺機能が急激に発達・発達する中学生時期において、その働きを高めておく必要があることを伝えていく。	○			・自己肯定感とは、他を尊重し自らを大切にしていこうことを理解してほしいと考えます。(自己だけを大切にすることは違ふこと)
信頼される学校	郷土愛の醸成	・地域や社会と関わりを持ち、自治活動を推進する。	・「獅子太鼓の継承は、自分と地域の関わりを考える機会になっている」に対して、肯定的評価の割合 (R6: 94. 0%)	95%	94.5%		99.5%	B	・毎年の取組の中で、先輩から後輩へ技が引き継がれていく流れができていく。3月の能地春祭りでは、新たな代としての発表の機会をいたたいであり、自分と地域の関わりを考えるよい機会となっている。また、今年度は1年生の総合的な学習の時間において、能地春祭り保存会と幸崎神社の方々から幸崎の歴史と文化についてお話をいただいた。	・生徒数が減少していく中で、一人一人の役割が増えしていくが、それが負担とならずに、できることを着実に進めていく方法で、どの生徒にもできることが少しずつ増えていくような取組をしたい。	○			・獅子太鼓の取組を地域とつながる懸け橋として、さらに多面的に地域のことや地域の人の思いを広く知ることができるように活動が進化できたらよいですね。 ・年度初めから勤務時間の短縮をめざして工夫され、成果につながっているのがいいですね。全体が忙しい時期は大体決まっているので、そこを先生方がみんなで分担しながら乗り越えていくのは大切な思いだと思います。
	充実感・達成感に満ちた教育活動と教職員の働き方改革の推進	・行事や活動を見直し、業務改善に取り組む。 ・定時退校日と月別時間外在校時間の縮減(45時間以内)を徹底する。	・時間外勤務45時間以内の職員の割合 (R6: 91. 7%)	95%	93.6%		98.5%	B	目標には達しなかったが、昨年度よりも45時間以内の職員の割合を増やすことができた。行事において早めの準備し、計画的に進めることができた。昨年度の校務分掌の改善すべき点は年度当初に改善し、スムーズに進めることができた。行事前には退校時間が遅くなる傾向があるので、退校時間を決めて効率よく業務を進める。	ぎりぎり45時間以内である職員がいるので、さらに在校時間の縮減をしていく。行事の準備において仕事分担当を明確にして分散させ、一人に仕事が集中しないようにする。	○			・OS活動でより深められるといいですね。 ・現生徒ができる最大の力で継承していることが良いと思いました。 ・先輩から後輩への引き継ぎの様子を見ていただいたが、とても良かった。

[j]: 自己評価 評価]

A: 100 ≤ (目標達成) B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
C: 60 ≤ (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60

[l]: 学校関係者評価 評価]

イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。
ハ: 分からない。